

Cloud9ルール日本語抄訳

2015.03.24 第1版

By The Game Gallery

ゲーム概略

- ・ 3～6人
- ・ 20～30分
- ・ 50VPを得る事

セットアップ

- 1.ボードをテーブルに広げ、1の雲の所にバルーンを置く。バルーンは脚に2枚のプラスチックをつけておく
- 2.各プレイヤーは色を1色選択して、片方の駒をスコアトラックのスタートの場所に置き、もう1個をバルーンの上に置く
- 3.全てのカードをシャッフルして各自に6枚配る。残りは山札にしておく
- 4.スタートプレイヤーを選択する。

プレイシーケンス

誰かが50点を得るまでスタートプレイヤーから時計回りに手番を続ける。手番が来たプレイヤーは以下のプレイを行う。

- ・ 手番プレイヤーはパイロットとなる
- ・ パイロットは現在バルーンが置かれている場所にかかれているバルーンアイコンの数だけダイスを振る
- ・ パイロット以外のプレイヤーは、以下の2つからどちらかを選択する
 - ・ バルーンから自分の駒を取り除いて、現在バルーンが置かれている場所の点を得る（バルーンが一番上まで登り切るか、上昇が失敗するまでパスとなる）。パイロットは離脱出来ない
 - ・ バルーンに乗り続ける
- ・ 全員が選択を追えたらパイロットは、以下のいずれかを行う
 - ・ 振ったダイス目に対応するカードがあれば、それをプレイするかワイルドカード1枚をプレイする（義務）。
 - ・ ワイルドカードは1枚があれば、その1枚を出して対応するカード全ての代わりとなる
 - ・ 対応するカードが無くて、ワイルドカードだけ持っている場合は、出しても出さなくても良い
 - ・ 対応するカードもワイルドカードも無ければ何もしない

対応するカードを出した場合は、バルーンを1つ上の雲に移動させて、左隣のプレイヤーの手番となる。ただし、そのプレイヤーが既にバルーンから降りていた場合は、そのプレイヤーを飛ばす。

対応するカードを出せなかった場合は、旅行中止となり「次の旅行の準備」を行う。バルーンを1の雲の所に戻し、降りていたプレイヤー駒を再びバルーンに乗せる。また、各プレイヤーはカードを1枚引いて手札に入れる（この時しか手札が増えてない点に注意）。そして、左隣のプレイヤーの手番となる。

※例外

- ・ パイロット以外の前任が降りてしまった場合、次の雲に移動した後に、飛び降りることを選択できる。飛び降りなければ、同じ手番を繰り返す（また、次の雲に移動した後に飛び降りるチャンスはある）。
- ・ バルーンが一番上の雲までたどりついたら、バルーンに残っているプレイヤー全員（パイロットを含む）は、25点を受け取り。「次の旅行の準備（前述参照）」を行う

50点以上となったプレイヤーがでた時点で終了となる。もし同点だった場合は、手元に残っているカード枚数が多いプレイヤーが勝者となる。

以 上